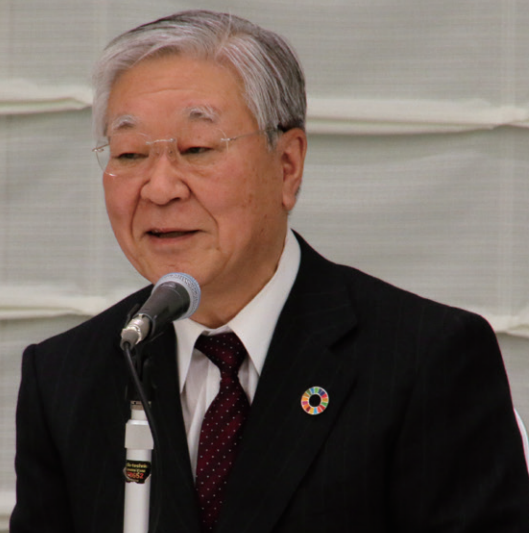




Keidanren Women's Executive Network

Leadership Mentor Program

変化を創造する プレイヤーには ダイバーシティが不可欠



経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

第13回リーダーシップ・メンター・プログラム

2019年1月15日 東京・大手町 経団連会館

経団連が目指す

「Society 5.0 for SDGs」と
日立製作所の「社会イノベーション事業」

経団連は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデルである「Society 5.0」を推進しており、これは国連が2015年に定めた「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成にも大いに貢献するものである。これからの企業は、「Society 5.0」の実現に向け、業界の利益を追求するだけでなく、社会にとっても有益となる経済活動が求められる。

日立製作所では現在、「社会イノベーション事業」に取り組んでいる。これは私が現在の経団連活動のコンセプトである「Society 5.0」を考えるに至った背景である。社会の抱える課題が複雑化し、お客様のニーズが多様化している現代において、企業が解決すべき課題も増えてきている。「いいものを作れば売れる」というかつての製造業の考え方だけではビジネスは成り立たなくなり、企業は、人々の期待を超える付加価値や、本当の意味でお客様に求められる商品の提供といった、“変化を創造するプレイヤー”になっていかなければならない。このような現代社会においては、多様な人材と対話し、あらゆる意見を取り入れる能力が求めら

れる。ダイバーシティの確保は大前提となる課題であり、切実感を持って取り組んでいるかがポイントとなる。

リーダーに求められること

これからのリーダーには、世の中の動きや変化に柔軟に対応し、新しいビジネスの機会を捉えていくスキルが求められる。課題解決型のビジネスにおいては、人とのコミュニケーション力や相手の考え・物事の価値を把握する能力が求められる。そのため女性リーダーの皆さんも、①ビジョンを明確に持ち方向性を示す、②常にポジティブに考える、③難しい判断を要する場合における決断力を身につける、④さまざまな人と関わり幅広い視野と柔軟な発想を持つ、⑤常に変化を生み出し、自らが変革を体現する、⑥リーダーとしてのメッセージを発信する一を実行してもらいたい。私自身、海外での勤務経験を通じ多様な人材と関わり、オープンな議論の重要性を感じてきた。皆さん自身が男性リーダーへの刺激となるように、何事にも積極的に手を挙げて取り組むと同時にそれを内外へと発信してほしい。

皆さんは役員として大きな責任を持っている。女性リーダーとして、ダイバーシティに対する取り組みをもう一段階引き上げていく役割を担ってほしい。

Mentor Profile

中西 宏明氏

一般社団法人 日本経済団体連合会
会長

(株) 日立製作所 会長

1970年東京大学工学部卒業後、(株)日立製作所に入社。米国Stanford大学院修了。1998年日立ヨーロッパ社長、2003年執行役常務/国際事業部門長兼欧州総代表、2005年執行役専務/北米総代表兼日立グローバルストレージテクノロジーズ社取締役会長兼CEO、2010年代表執行役執行役社長、2014年取締役代表執行役執行役会長兼CEO、2018年取締役会長執行役に就任(現職)。経団連では、2018年より会長を務める。

HITACHI
Inspire the Next